

移民史の流れ 概念図

日伯修好条約 1895

日本公使館 ペトロポリス 1897

笠戸丸 1908

コーヒー園コロノ時代

旅順丸 1910

レジストロ入植 1914

コチアに日本人が入る。 1914

開拓時代はじまる 1920

平野植民地 カフェランジア 1915

プロミツソンに上塚植民地 1918

ミカド俱樂部 サンパウロ市 1920

聖州新報（バウル） 1920

バウルー日本領事館 1921

コンデ・コマ ベレンに住む 1924

アリアンサ建設 1924

コチア バタタ組合 1927

スールブラジル組合 1929

日伯映画社（バウル） 1929

アマゾン入植はじまる 1929

アマゾニア産業研究所（ジュート麻）

1930

北パラナ土地会社 1930

トレスバラス（アサイ）入植 1932

移民25周年式典 1933

移民二分法案審議 1934

メルカード（市場）落成

東山農場が日本酒発売 1935

綿景気の時代 1936

（サンパウロ市） 1935

ヴァルガス大統領就任 1937

ナシヨナリズムの時代

第二次世界大戦 1939

太平洋戦争 1941

14歳以下の外国語教育禁止令

国交断絶 1942

日本政府関係者引き揚げ 1942

コンデ街日本人立ち退き

日本の敗戦 1945

コロナ対立の時代 1945

勝ち負けの争い テロ 1946

47

サンパウロ新聞パウリスタ新聞創刊

1946

コロナ融和の時代

第一回訪日団 1949
日本水泳チーム 1950
芸能使節団 1951
戦後初の移住者 1953

シネニテロイ（東洋街のはじまり）

1953

サンパウロ市創立400年祭 1954

サンパウロ文化協会設立総会 1955
各地に文協誕生

進出企業ブーム

コチア青年109人（計2500人）

1955

イシブラス 1959

コチア青年の集団花嫁 1959

日本移民援護協会 1959

ベレンの援護協会 1965

皇太子ご夫妻熱狂の歓迎 1967

各地に日系の市長と副市長 1969

安田フアビオ商工大臣 1969

日系人発展の時代（1970頃から）

（日本の発展とも重なる）

石井千秋 柔道ミュンヘン銅メダル

1972

最期の移住船「につぼん丸」 1973

移住時代ほぼ終わる。飛行機で移住。

植木シゲアキ鉾山動力大臣 1974

サ州パ州のみで15名の日系市長

1976

セラード開発 1979

映画「ガイジン」 1980

ツバロン製鉄所 1983

日伯友好病院 1988

実態調査 日系人口推定1228、00

0人（1990年発表）

コチア組合解散 1994

スールブラジル組合かいさん 1994

日伯修好100周年 紀宮さま 1996

日系人の時代

新しい日伯関係

南米銀行スタメリスになる 1998

県連フェスティバル第一回 1999

ブラジル日本移民100周年

2008